

ユダヤ教の祈り 祈禱文と解説

吉見崇一 編訳



ユダヤ教では、何を、どう祈っているのか。
世界各地で生まれ、伝承されてきた、
100を超える多様な祈禱文を紹介。
家庭や会堂の礼拝で唱えられる、神への感謝と賛美のことば。

「書物の民」といわれるユダヤ人は、神の言葉を学ぶことによって神への感謝の念がわき、神に対して言葉によって賛美します。聖書の言葉を自分の心からの言葉として告白する。それがシユマアの朗読となり、18連禱となったのです。ユダヤ教の礼拝は、神と向き合っ
て自分の行いを見直す大事な営みなのです。
本書は、こうしたユダヤの祈りの伝統と意義を教えてください。聖書の註解書を読むのとは一味違う神への向き合い方を、是非知ってください。イエスの主の祈りに対する新たな理解も、きっと生まれることでしょう。

市川裕氏（東京大学名誉教授）推薦！

《編訳者紹介》吉見崇一（よしみ・しゅういち）
1944年生まれ。1970-73年イスラエル各地のキブツに滞在。1978-82年エルサレム在住。ヘブライ大学旧約聖書学科に在籍、かたわらガイド業に従事。1986-2024年旅行業。
著書に『ユダヤ人の祭り』（エルサレム文庫）、『ユダヤの祭りと通過儀礼』『ユダヤ教小辞典』（共にリトン）、『イスラエルの旅』（共著、昭文社）。

A5判・並製・216頁・定価 2,860円（本体 2,600円+税）・ISBN 978-4-7642-7486-0 C3014